



放下僧



特別
子12
3643
16(7)



出家僧

^己松根よ者下野國に住まふの^己尼
^エ法門竹葉子に^{モシ}法郎と申せし^ニ母も
^{サカ}親あり者相授^{サカ}まの^ニ信^ノ儀と
^{コラ}申せし^{コラ}論^{コラ}人^{コラ}を^{コラ}討^{コラ}きて^{コラ}親^{コラ}の^{コラ}敵^{コラ}
^カめく^カい^カる^カ子^カ討^カて^カや^カい^カゆ^カた^カ敵^カの^カ極^カ振^カつ
^タま^タい^タの^タ唯^タ一^タ人^タあり^タ同^タ男^タ子^タ甲^タ斐^タあり

出家

故
 梅若誠木郎氏
 昭和四年正月廿五日
 梅若重久氏
 寄贈

ツキヒ 月日と違ふ。兄とて長い幼らうの出家
は。あつらひに會下り。御使のあつら
向立。親とて談合をりやとぬ。いふに
業の上。親とて海山ぞ。無うま
アツム 屋に方。いふに。又。相。いふ
竹の鳥。ま。う。給。て。給。い。ふ。に。今
しま。り。大。の。依。り。い。ふ。に。親。の。敵。の

い。ふ。に。中。の。い。ふ。に。敵。を。極。親。神。お。ら。ぬ
一人。い。ふ。に。程。よ。思。ひ。の。甲。斐。的。月。日。と
い。ふ。に。長。き。法。の。よ。光。法。を。い。ふ。に。い
む。い。ふ。に。去。却。の。い。ふ。に。幼。け。ら。の。出家。の
い。ふ。に。い。ふ。に。い。ふ。に。更。い。ふ。に。い。ふ。に。い
い。ふ。に。い。ふ。に。い。ふ。に。親。の。敵。と。い。ふ。に。い。ふ。に。い
い。ふ。に。い。ふ。に。い。ふ。に。親。の。敵。と。い。ふ。に。い。ふ。に。い
い。ふ。に。い。ふ。に。い。ふ。に。親。の。敵。と。い。ふ。に。い。ふ。に。い

出家

二

分るるるれん中^レの^レ子^ヲ。唐^モ士^カ力^コあや
うきし母^ヲと要^ス虎^ノを^レた^カ。敵^トを^レし
とく^モ百^カ口^ヲと^レ伏^ス野^ガは^レて^レは^レる^ル
又^シ言^フ尾^ハれ^ル乃^ハ来^ル隱^シ虎^ノは^レ修^ス大^ニ石^ヲ
乃^ハあ^リと^レ敵^ト虎^ト思^フづ^レる^ル矢^ヲを^レた^カ
う^レひ^レつ^ク放^ツつ^ク矢^ヲ則^チい^ハは^レた^カら^レ血^ヲ
流^シま^レる^ル也^ト見^ルも^レ孝^ノ乃^ハ深^キま^レる^ル

等^カら^レ石^ヲに^テ矢^ヲを^レ申^スる^ル。思^フる^ル莫^ク久^シ
い^ハる^ル面^目に^テも^レい^ハる^ル敵^ヲ如^ク作^ルに^レる^ル
法^ハも^レ思^フた^カら^レも^レあ^リく^ル。思^フる^ル今^ノも^レ
相^シ取^ルを^レ行^フて^レは^レあ^リま^シ。果^シて^レ思^フる^ル
不^レ業^ヲ出^スる^ルも^レか^レぬ^ル。此^ノ人^ノ敵^ヲを^レ殺^ス
家^ノの^レく^ル福^ヲも^レ果^シて^レ家^ノを^レ成^スる^ルは^レ由^ナ
敵^ノ下^ノ備^ヲに^テ女^ヲを^レば^レ去^ル禪^法も^レあ^リる^ル由^ナ

女^ノ家

三

是の程に後法ゴホフの心ココロをわきまをきく

是は面白オモシロシい事コトなりて、シヨウ尚ナホもて、ヤガは海ウミの男オトコの立タチ

まするマサるル事コトなり、ヒにヒてテ、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

事コトなり、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

思オモひヒてテ、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

くク事コトなり、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

有アりリ、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

浪ナミの先サキ、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

をを神カミ壇イハややくく、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

是コノ相サ撮トの國クニ、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

ああ、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

傲セれレ、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

神カミの者モノ、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

家イ、シヨウはヒくク事コトなり、オモい

敬家

四

と思ひ抄をばあしよの
朱子
流氷山の上れ秋うて
行はるるありき朝の嵐夕の雨く
きよ月日昔ぞと夕るれ露のしつぬ
定ぬあるは昔古の流氷のしつぬ
しつぬ人からあしたの思ひに
てんしつぬ

ちんしつぬのなる行とちんしつぬ
氷と申のしつぬある人のなる行と
しつぬ流氷と申のしつぬ流氷
あま成る流氷しつぬあま成る
しつぬ守をとりしつぬしつぬ
しつぬ放たる流氷と申のしつぬ
面より流氷なるしつぬ

河守まつり
氷車
せしき
志ざり
もあ
き
放家

竹乃
うれ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

右の本者觀世大夫章句真本令發行畢
正德六^丙申歲弥生尚又天保十^庚子歲孟春改正再版
示來茲再數十年ノ星霜ヲ経ルニ後七改正増補ヲ加ヘ
印刷附セザレ之ヲ世ニ公ニスル能ハサルヲ悲ク今般
宮内省御用達觀世清孝校合ヲ以テ茲ニ之ヲ上梓ト云
明治十年十月 内百拾番 出版御届
同 十年三月 外空番 出版御届
同 十年九月 外空番 出版御届
同 十年三月 外空番 出版御届
同 十年四月 別能社番 出版御届
同 十年六月 別能社番 出版御届
同 十年十月 別能社番 出版御届

右之本者觀世大夫章句真本令發行畢

正德六^丙申歲弥生尚又天保十^庚子歲孟春改正再版

示來茲再數十年ノ星霜ヲ経ルニ後七改正増補ヲ加ヘ
印刷附セザレ之ヲ世ニ公ニスル能ハサルヲ悲ク今般

宮内省御用達觀世清孝校合ヲ以テ茲ニ之ヲ上梓ト云

京都府平民

出版人 檜 常介

上京區東區組系御幸町西ノ丁子屋町

明治十年十月 内百拾番 出版御届
同 十年三月 外空番 出版御届
同 十年九月 外空番 出版御届
同 十年三月 外空番 出版御届
同 十年四月 別能社番 出版御届
同 十年六月 別能社番 出版御届
同 十年十月 別能社番 出版御届

東京 觀世清孝 大改生 一丸兵衛
 梅若 實 大西濫一郎
 京都 斤山晋 三 橋岡忠三郎
 浅井喜次郎 岡田泰造
 林 喜右門 新西市兵衛
 茵 久左門 恒岡 德
 浅野繁之助
 林田喜代造
 武田藤馬
 藤木保 大津原 五郎助
 大紅信之助 草川愛助
 井上勝太郎 岩佐富三郎
 立花傳三 德田中
 三宅作十郎
 奥田彦重門
 馬淵大右門

諸 國 賣 弘 所 書 肆
 諸 越後高岡 清水庄平
 迎 吉田作平
 伊 井新次郎
 東 村上 兵衛
 紫 大谷 兵衛
 三 杉本 甚助
 日 福井 源次郎
 九 澤田 友五郎
 花 永田 調兵衛
 寺 藤井 兵衛
 日 山田 茂助
 日 北川 甚七
 古 吉右門

東京 堀井 吳三郎
 松本 善助
 清水 庄平
 吉田 作平
 井新 次郎
 村上 兵衛
 大谷 兵衛
 杉本 甚助
 福井 源次郎
 澤田 友五郎
 永田 調兵衛
 藤井 兵衛
 山田 茂助
 北川 甚七
 吉右門

觀世流了大以本賣弘廣告

右諸本八後來出本長兵衛所有如元治元年七月京都大火之初土藏燒朱依之矣
 保版不殘燒失致一山幸版本彫刻可致之如不其意所彫刻難出未每據我亦方介
 更存立其後長兵衛死去山本絶無相成其有觀世家元新出版出外如觀世
 家元尔右諸本亦來數十年之星雲正理不悅以致正增補成加印刷附其
 悲之明治十年第廿二世觀世家元授合際之撰版本彫刻可致者付同年以來新出版在
 於私店販賣出右諸本其書名於一上何年用向以仰下及係奉授上儀
 一大本 壹番綴 壹冊二片 代價金
 右諸君之嗜好所護愛任尚又兩外插本之向不足有以重次第是亦仕五右法
 用向係奉授上儀
 明治十六年十月
 觀世流謠本根元
 山本長兵衛後傳
 檜常介

